

## 情報通信研究機構の第2期中期目標期間の業務実績評価結果の概要

### 全体的評価結果

ICTの研究開発はイノベーション創出の原動力であり、その成果は地球的規模の課題解決、安心・安全な社会の実現等社会ニーズに応えるもの。

そのためには研究開発課題の重点化、成果還元意識の徹底等に加え、ニーズを踏まえ適切に事業支援業務を実施することが必要。

以上のミッションを踏まえ、NICTの第2期中期目標期間の業務実績をみた場合、項目別評価の結果はAA:3件、A:21件であり、全体的にその目標を十分達成し得たと評価。

### 【業務運営の効率化】

管理部門の効率化、2本部制の廃止(小金井への本部統合)や地方・海外拠点の機動的見直しなど組織体制や業務運営の効率化が図られた。

「ユニバーサル・プラットフォーム技術に関する研究開発」の研究課題を見直し、研究グループを廃止した組織再編成などの取り組みは評価できる。

### 【国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上】

フォトニックネットワークに関する研究開発では、マルチコアファイバにより1本のファイバでの伝送速度について世界記録を樹立。ユニバーサルコミュニケーション技術領域の研究開発では、スマートフォン上の音声質問応答システムを低コストで開発。安心安全のための情報通信技術領域の研究開発では、航空機搭載合成開口レーダシステムにおいて世界最高性能の分解能を実現。

### 【財務内容の改善】

各勘定とも基本的に短期借入れ等に依存しておらず、財務は基本的に健全である。

### 【その他（人事に係るマネジメント）】

パーマネント職員の積極的採用、特別招聘制度の活用、民間企業からの在籍出向等、戦略的な人材獲得が行われた。

### 【業務運営の改善その他の提言等】

効率化しながらも研究開発レベルの維持・向上といった成果を出すよう一層の努力が求められる一方、機構側の自由裁量も含めたより柔軟な財政マネジメントを構築していくことも重要である。

### 【参考】項目別評価結果

項目別評価		AA	A	B	C	D
1 業務運営の効率化			2			
2 業務の質の向上	研究開発活動	3	14			
	研究開発の戦略的实施、支援・浸透等		3			
3 財務内容の改善			1			
4 その他（人事に係るマネジメント）			1			